租税教育の事例集（小学校版）

～租税教育の充実に向けて～

平成 27 年４月発行

（令和５年 11 月改訂版）

（令和６年６月一部改訂）

租税教育推進関係省庁等協議会

○はじめに

１　租税教育は、なぜ重要なのでしょうか

国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものです。

憲法で国民の義務に掲げられているように、国民が教育を受け、勤労し、税を納め、持続可能な社会を作っていくことは、民主国家の維持・発展にとって欠かせないことであり、次代を担う児童・生徒等が、国の基本である税の役割や申告納税制度の意義、納税者の権利・義務を正しく理解し、国や社会の在り方を主体的に考えることは、民主国家の維持・発展にとって極めて重要なことであると考えられます。

また、教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない」（第１条）と定めており、教育の目標については、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」（同法第２条１項３号）と定めています。社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、税を通して社会や国の在り方について考える租税教育は、正に教育基本法の理念に基づいた教育であると考えられます。

２　租税教育の充実に向けた取り組み

文部科学省、総務省、国税庁は、平成 23 年に租税教育推進関係省庁等協議会（いわゆる「中央租推協」）を発足させ、賛助会員である日本税理士会連合会の協力も得ながら、租税教育の推進に取り組んでいます。

全国各地においても、教育委員会など学校教育関係者、地方自治体、国税局・税務署、税に関係する民間団体の関係者の方々などから構成される租税教育推進協議会等を中心として、租税教室（出前授業）の開催や税の作文募集のみならず、例えば、職業体験施設における税務署の仕事や納税の体験、鉄道やバスに乗り税の関連施設を探す移動租税教室、教員を対象とした確定申告体験、税理士が母校で行う租税教室の開催など、様々な工夫を凝らした租税教育の取り組みが実施されています。

３　租税教育の事例集の活用について

平成 27 年４月、中央租推協では、教員等の意識啓発を図ることを目的とし、全国で行われている租税教育の優れた取組事例などを基に、監修者の先生方の御指導・御協力をいただき、事例集を作成しました。

その内容は、学習指導要領及び同解説の記述を踏まえたものとし、その構成は、①税の授業の経験が少ない方には創意工夫を生かした授業づくりに活用できる学習指導案を、②税の授業の経験が豊富な方には授業づくりのヒントとなるページ（素材やそのつかませ方を例示した教材化の視点）を、③更には各学校段階の授業において取り上げたい要素を一覧に整理した体系図を添付するなど、租税教育に関係する様々な立場の方に広く御活用いただけるつくりとしています。

租税は、社会との一つの接点であり、児童・生徒に社会と自分との関わりを具体的に理解させる観点から、社会科、公民科以外の時間にも取り扱うことが考えられます。この事例集を広く関係者の方々に周知・配布していただき、よりよい租税教育の授業づくりのため、関連する教科・時間などにおいても、是非、御活用いただきますようお願い申し上げます。

○御利用に当たっての留意点

・各事例の学習内容や指導方法は、税についての学習内容や方法等を限定したものではなく、税に関する理論等を定めたものでもありません。児童・生徒の実態等に応じて、創意工夫を生かして御活用願います。

・体系図は、租税教育の学習内容等を限定、又は、取り上げる順番を固定するものでもありません。

・事例集に記載している「副教材」とは、各地域の租税教育推進協議会等が、地域の情報を取り入れ、工夫して作成している補助教材を指しますが、各事例の学習内容に全て対応しているものではありません。

・本事例集は、平成 29 年３月に改訂された小・中学校の学習指導要領及び平成 30 年３月に改訂された高等学校の学習指導要領に基づき作成していますが、本文中の数値については、本事例集改訂時における最新の数値となっています。

目次

【小学校】

事例1 「我が国の政治の働き」（令和5年 11 月追加）・・・・・・・・・・・・3

➢私たちの人権を保障する税の働きを知り、国民主権を担う一員として税と自分の関わりを考える授業例

事例2 「私たちの願いを実現する政治」(社会保障)・・・・・・・・・・・・・6

➢地域の人々の願いを実現する税の役割を知り、視聴覚教材により税の必要性を考える授業例

事例3 「私たちの生活と政治の働き」（自然災害からの復旧や復興）・・・・9

➢災害復旧の取り組みを調べ、地方公共団体の働きを支える税の役割の理解に重点を置いた授業例

事例4 「政治の働きを支える税」（地域の開発や活性化）・・・・・・・・・・12

➢市民が納める税によって地方公共団体の活動が行われていることの理解に重点を置いた授業例

紹　介「税について考えてみよう」（令和5年 11 月追加）・・・・・・・・・14

➢様々な視点や方法で「税」に触れ、「税」に関心をもつことに重点を置いた授業例

【参考】

参考1　租税教育の体系図（学校段階と授業において取り上げたい要素）・・・・・・20

参考2　小学校の学習内容と教材化の視点の例・・・・・・・・・・・・・21

（国税庁ホームページ「税の学習コーナー」の紹介）

【紹介】学校段階ごとに多く行われている授業や特色ある取り組みの例

・ 小学校（高学年）では、児童の関心を高めるため動画を視聴し、「税が無かったらどうなるか」を自ら考えさせることにより、税の必要性などを理解する租税教室（出前授業）が多く行われています。

なお、学習指導要領において、「租税の役割などについて扱うこと」、「国や地方公共団体の政治」については、「社会保障、自然災害からの復旧や復興、地域の開発や活性化などの取り組みの中から選択して取り上げること」とされていることから、事例集ではこれらの事例を掲載しています。

【小学校】 事例1 「我が国の政治の働き」

ポイント➢私たちの人権を保障する税の働きを知り、国民主権を担う一員として税と自分の関わりを考える授業例

〇実施学年、教科など

・第６学年／社会科（(1)我が国の政治の働き（ア（ア）（ウ）イ（ア）））

※　次の２つの小単元から構成

小単元１：私たちの暮らしと日本国憲法

小単元２：我が国の民主政治

〇小単元1（私たちの暮らしと日本国憲法）の目標

・日本国憲法は、国民としての権利や義務など、国家や国民生活の基本を定めていることや、我が国の民主政治は日本国憲法の考え方に基づいていることを理解できる。

・日本国憲法の基本的な考え方に着目して、日本国憲法が国民生活に果たす役割を考え、表現できる。

・我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとする。

〇指導計画（５時間・各１時間）

【単元を貫く問い】私たちの暮らしと日本国憲法は、どのようにつながっているのだろう

第１時　日本国憲法って何だろう。

第２時　日本国憲法は、国民主権についてどのように定めているのだろう。

第３時　暮らしの中で、私たちの基本的人権はどのように守られているのだろう。＜本時＞

第４時　人権保障の考えは、どのように広がっているのだろう。

第５時　平和を実現するために、どのような努力が続けられているのだろう。

〇本時の学習

１　本時の目標

暮らしの中の権利と義務について調べ、日本国憲法で保障されている権利が、私たちが納める税によって守られていることを理解できる。

２　本時の展開（３／５時間）

租税の意義・役割・課題　納税の義務

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料
導入	1　日本国憲法には、基本的人権についてどのように書かれているのだろう。 ※生命、自由及び幸福の追求に対する国民の権利は、侵すことのできない永久の権利として国民に保障されている。 ※国民の権利を保持するためには、国民の不断の努力を必要とする。 2　本時の学習課題を確認しよう。 暮らしの中で、私たちの基本的人権は、どのように守られているのだろう。	・日本国憲法第 11 条 ・日本国憲法第 12 条
展開	3　私たちの暮らしの中にある、「教育を受ける権利」に関わる施設について調べよう。 (1) こども図書館について調べよう。 ・どのような図書館だろう。 ・どのような人が利用しているのだろう。 (2) 子供の「読む権利」を保障することがなぜ大切なのか、学校図書館の司書の先生に伺おう。	・子供たちに読書の機会を提供するだけでなく、子供の読書活動に関わる人たちが学び、交流する場になっていることを押さえる。 ・子供たちのもつ可能性を開くためには、子供たちの「成長・発達の権利」を保障することが必要であり、そのためには、教育を受ける権利、子供自身の学習する権利、読む権利の保障が重要であることを押さえる。

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料
展開	(3)子供たちの「読む権利」の保障は、憲法に定められた国民の義務とどのように関係しているのだろう。 ・こども図書館の建設費は、どのようにして賄われたのだろう。 ※こども図書館は、「税金（＝国民から集めたお金）」で賄われている。 →税金のおかげで、「読む権利」が守られている。	・憲法には、権利だけでなく義務についても記されていること、国民には納税の義務があること （憲法第 30 条）を押さえる。 ・税金が、権利を守るために使われていることを押さえる。
まとめ	4　教育を受ける権利、読む権利をはじめとする権利と義務の関係について、考えたことをまとめよう。	

3　評価規準

【知識・技能】

暮らしの中の権利と義務について調べ、日本国憲法で保障されている権利が、私たちが納める税によって守られていることを理解している。

○小単元2（我が国の民主政治）の目標

・我が国の民主政治は、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できる。
・日本国憲法の基本的な考え方に着目して我が国の民主政治を捉え、国会、内閣、裁判所と国民との関わりを考え、表現できる。
・我が国の政治の働きについて、主体的に問題解決しようとする。

○単元計画

第１時　私たちの暮らしと法やきまりは、どのように関わっているのだろう。
第２時　国会の働きについて調べよう。＜本時＞
第３時　内閣の働きについて調べよう。
第４時　裁判所の働きについて調べよう。
第５時　私たちの暮らしを守るための政治の仕組みは、どのようになっているのか、自分との関わりから考えよう。

○本時の学習

1　本時の目標

・国会では、選挙で選ばれた国民の代表者である国会議員が話し合って、法律や予算を決めていることを理解できる。
・選挙、予算、税金のキーワードを使って、国会と私たちとの関わりについて考え、表現できる。

2　本時の展開（２／５時間）

国民主権

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料
導入	1　前単元（小単元１）で学習した「こども図書館」は、K市だけにあるのだろうか。 ※全国的につくられている。 ※国も「子どもの読書活動の推進に関する法律」をつくり、子供たちの読書活動を進めている。 2　本時の学習課題を確認しよう。 K市でこども図書館がつくられる基となった、国の政治の仕組みはどうなっているのだろう。	
展開	3　国会について調べよう。 ・国会では、どんな仕事をして（どんなことを話し合って）いるのだろう。 ・国会議員は、誰が、どうやって決めているのだろう。 ・国会で決められた予算や法律は、私たちの暮らしとどのように関わっているのだろう。	・「子どもの読書活動の推進に関する法律」を例に、法律が、国が進めようとしている政策の重要性や、そのために、国や地方公共団体がするべ

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
展開	※国会では、国民の生活に関わる法律や政治を進めるための予算などを話し合って決めている。 ※国会議員は、国民による選挙で決められる。	きことを記していることを押さえる。 ・国会で決められる予算とは、税金の集め方や使いみちであることを押さえる。
	4　国会と私たちとの関わりについて、「選挙」、「予算」、「税金」の語を使ってまとめよう。	・まとめることが難しい児童には、図で整理するように指示し、「国会」と「国民」の2つの語の間の矢印を引き、「選挙」、「予算」、「税金」がどのように関わるのか考えさせる。 ・何人かの児童に発表させる。
まとめ	5　国会と私たちとの関わりについて考えたことをまとめよう。	・国会と私たちとの関わりについて考えたことをまとめさせる。

3　評価規準

【知識・技能】

国会では、選挙で選ばれた国民の代表者である国会議員が話し合って、法律や予算を決めていることを理解している。

【思考・判断・表現】

選挙、予算、税金のキーワードを使って、国会と私たちとの関わりについて考えたことを、表現している。

【小学校】 事例２ 「私たちの願いを実現する政治」(社会保障)

ポイント➢ 地域の人々の願いを実現する税の役割を知り、視聴覚教材により税の必要性を考える授業例

〇実施学年、教科など

・第６学年/社会科((1)我が国の政治の働き(ア（イ）（ウ）イ（イ）))

〇単元の目標

・国や地方公共団体の働きについて、公共施設を見学したり、各種資料を活用したりして調べたことをまとめるとともに、私たちの生活には政治の働きが反映していることを理解できる。
・政治が人々の願いを実現するうえで、税が大切な役割を果たしていることを理解できる。
・人々の願いを実現するための政治の仕組みを基に、自分も政治に関わることができることを自覚し、よりよい社会をつくるために自分にできることを考えようとする。

〇指導計画（７時間・各１時間）

次	時	学習活動･学習内容	指導上の留意点	評価規準
第１次　子育て支援センターの事例を通して、人々の願いを実現するための政治の働きについて調べる。				
	1 子育て支援センターの見学	○利用者にインタビューし、幼い子供をもつ親の願いについて話し合う(親は、安心して子供を育てられる仕組みが欲しいという願いをもっていること。)。 ○単元を貫く問いの設定 私たちのまちに暮らすいろいろな人の願いを実現するために、どのような社会の仕組みがあるのだろう。	支援センターで行っている活動の様子やアンケートの結果から、利用者の願いについて考えるよう促す。	(主体的に学習に取り組む態度) 支援センター利用者の願いや活動の様子について関心をもって調べている。
	2 子育て支援センターの活動	○支援センターを見学したり、所長の話を聞いたりして、どのような目的で、どのような活動が行われているのかを調べる（支援センターでは、幼い子供とその親のために、市民の意見を取り入れながら、様々な活動を行っていること。)。	支援センターで行われている様々な活動の目的について考えるよう促す。	(知識・技能) 支援センターの活動が、市民の願いに基づいていることを理解している。
	3 住みよいまちを目指して	○市役所や市議会を見学したり、市役所の人の話を聞いたりして、市役所などの働きを調べ、まとめる(市役所などでは市民の願いを実現するために話し合いながら仕事を進めていること。市民の生活には市の政治の働きが反映していること。)。	支援センターの活動が始められた経過について、市民の生活向上と安定を図ろうとする市役所などの働きを関連付けて調べるよう促す。	(思考・判断・表現) 私たちの願いを実現するための市の政治の働きについて考え、適切に表現している。
第２次　政治の働きを支える税の大切さについて考える。				
	4 税の働きを調べる	○支援センターを建設したり、運営したりするための費用がどこから出ているのか、収集した資料を基に調べ、まとめる。	支援センターにかかる費用を基に、人々の願いが実現するために税が大切な役割を果たしていることを示す。	(知識・技能) 税が重要な役割を果たしていることについて、資料を活用して、必要な情報を集めて読み取っている。
	5 **税について考えよう** **＜本時＞**	○税の専門家、各地域の税に関する民間団体等及び関係機関等の外部講師による租税教室を通して前時で学んだ税への関心を高め、税が自分たちの生活と密接に関わっていることや税の必要性について理解する(消防活動やごみの収集など、税が自分たちの生活と深く関わっていること。)。 ○税が無いとどうなるかまとめる。	視聴覚教材（動画）を活用することで、税が自分たちの生活と密接に関わっていることや税の必要性などについて示す。	(知識・技能) 自分たちの生活と税の関わりについて理解している。
	6 税の大切さを伝えよう	○税に関する絵はがきコンクールや税の標語等に向けての作品づくり等を通して、税の大切さについて考え表現する。	自分なりの表現方法で作成するよう促す。	(思考・判断・表現) 税の大切さを絵や標語等で表現している。

次	時	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準
第３次　学習したことをまとめる。				
	7 学習したことをまとめよう	○支援センターの働きや建設の経過を例にして、私たちのまちに暮らすいろいろな人の願いを実現するための地方公共団体の政治の仕組みについて、市議会、市役所、住民、税金、選挙などの用語を入れて関係図にまとめる。 ○学習したことを基に、よりよい社会をつくるために自分にできることを考える。	関係図の中に「私たち＝住民」を位置づけさせ、政治の仕組みと私たちの関係について、自分の考えをもたせる。	（主体的に学習に取り組む態度） 学習したことを基に、自分も政治に関わることができることを自覚し、よりよい社会をつくるために自分にできることを考えようとしている。

○本時の学習

１　本時の目標

自分たちの生活と税が密接に関わっていることを基に、税の必要性について理解できる。

２　本時の展開（５／７時間）

租税の意義・役割・課題　税の使いみち　税の種類　財政の目的

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
導入	1　本時の学習課題を確認する。 自分たちの生活と税金の関わりを理解し、税金の必要性を考えよう。 2　外部講師の紹介を聞く。	・外部講師を紹介する。
展開	3　外部講師の話を聞き、税について関心をもつ。 (1)知っている税金を発表する。 ※消費税、所得税、自動車税など。 (2)世界の消費税について知る。→日本と欧州各国の消費税率など。 ※国により税率が違うことに驚いていた。 (3)税金の種類（様々な税の集め方）を知る。 日本には全部で何種類の税金があるでしょうか。⇒約 50 種類 ※税金の種類の多さに驚いていた。 ※税金はいっぱいあるけど必要なのかな。 4　自分たちの生活と税との関わりを理解し、税の必要性を考える。 (1)税金は必要か、必要でないかを発表する。 ※必要性について意見が分かれていた。 (2)動画を視聴し、自分たちの生活と税金の関わりを理解し、もし税金が無かったらどうなるかを考える。 ※税金の無い世界に驚いていた。 ・税金が無いと困る（消防活動やごみの収集がされないなど。）。 ・いろいろな所に税金が使われていることが分かった。 (3)もし税金を納めない人がいたらどうなるかを考え、憲法に納税の義務があることを知る。 (4)学校と税金の関わりを例に、身近な税金の使いみちを理解する。 公立学校に通う児童一人当たりの年間教育費はいくらでしょうか。 →約 92 万円（令和３年度）。この費用は、税金で賄われている。 →学費にしたら毎月約８万円を学校に支払わなければならない。 ※月謝にして一人当たり約８万円ということに驚いていた。	☆国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（入門編）」、副教材 ☆国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（発展編）」、副教材 ☆国税庁動画「マリンとヤマト　不思議な日曜日」（約 17 分） ・教科書の裏表紙に「国民の税金により無償で支給」と書かれていることを示す。

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
展開	(5)税とは何かを考える。 ・みんながより豊かで安全・安心な生活を送るための地方公共団体や国の働きに必要な費用は、みんなで分担する必要がある。 ・税金は、国民が社会の一員として暮らしていくための会費のようなもの（社会を支えるための会費）。 (6)国の予算額を知る。 ・みんなが分担して納めている税金の使いみちは、選挙で選ばれたみんなの代表（国会議員）が話し合って（国会で）決めている。 ・みんなが分担して納めている税金は、大事に使わなければならない。 ・１億円の量と重さを体感し、高額な金額に実感をもつ。 ※１億円の重さを体感し、集めた税金や国の予算の大きさ（重み）、お金の大切さを実感していた。 ※１億円は 10 kgもある。僕は４億円と同じ位の重さだ。 ※国の予算は約 110 兆円だからすごい重さだ。	☆副教材、１億円レプリカ ・重さや金額を身近なものや距離で例える。
まとめ	5　税金はなぜ必要なのかについて分かったことを発表する。 6　感想を発表する。 ※税金の大切さが分かった。	・学習内容を振り返り、児童ともにまとめる。

３　評価規準

【知識・技能】

自分たちの生活と税の関わりについて具体的に例を挙げながら、税の必要性について理解している。

４　まとめ・振り返り（実践を終えて）

・外部講師による租税教室を実施したことで、児童の関心も高まり、税の大切さを実感することができた。租税教室実施後の児童の日記からもその様子がうかがえた。また、絵を使った資料や動画など、視覚に訴える資料が効果的であった。

・学校と税金という身近なテーマで考えたとき、具体的な金額を通して税のありがたさに気付くことができた。

【小学校】 事例３ 「私たちの生活と政治の働き」（自然災害からの復旧や復興）

ポイント➢ 災害復旧の取り組みを調べ、地方公共団体の働きを支える税の役割の理解に重点を置いた授業例

〇実施学年、教科など

・第６学年/社会科((1)我が国の政治の働き（ア（イ）（ウ）イ（イ））

〇単元の目標

・ 聞き取り調査で聞いたことや収集した資料を活用したりして、まとめ、市民の願いを実現し、生活の安定と向上を図るための政治の働きと、その費用は国民が納めた税金によって賄われていることを理解できる。

・災害復旧のプロセスに着目して、政治の働きと国民生活の関係を考え、図等にまとめ、表現できる。

・安全に暮らしたいという人々の願いを実現するための地方公共団体等の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり学習内容を振り返ったりして学習問題を追究しようとする。

〇指導計画（６時間・各１時間）

時	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
1	どのようなことが起こったのだろうか。 ・ 被災した町の様子と災害から復旧した町の様子を比較し、その間に何があったのか（どのような災害が発生したのか、災害によってどのような被害を受けたのか、また、災害が起こったときにどのような救援活動などが行われたのか）を想像し、発表し合う。 〇 単元を貫く問いの設定 安心に暮らしたいという人々の願いは、どのようにして実現されているのだろう。	☆小学校プールのブロック塀や駅付近の写真 ☆災害復旧後の写真 ☆新聞記事など ・問いに対して予想を立てたり学習計画を立てたりして、見通しをもって学びに取り組めるようにする。
2～5（本時）	災害で壊れた道路は、誰がどのように復旧させたのだろうか。 ・市民が市役所に要望を行っている。 ・市役所では、救援活動や災害復旧の計画・実現などをしている。 ・市議会では、市民の願いを実現するために、話し合いながら仕事を進めている。 災害復旧のための費用は、どのように集められ、使われるのだろう。 ・災害復旧の取り組みには、税金が使われている。	☆道路の写真 ・地域に住む人々の話 ・市役所や市議会議員の話 ☆市議会における話合いの様子（議事録・写真） ☆副教材
6	・人々の願いに基づいて、街づくりが進められていること 国の政治は、どのような仕組みになっているのだろう。 政治を支えるためにできることを考えよう。 ・大人になったら、選挙に行くようにしよう。 ・自分たちの代表者が国会で話し合って決めた税金はきちんと納めよう。 ・今までより、ニュースや新聞を見るようにしよう。	・街づくりについてのインタビュー ・国民一人一人が政治に関わることができることを意識し、将来にわたって生き続ける公民的な資質を育んでいく学習を展開する。

○ **本時の学習**（２～５／６時間）

１ 本時の目標

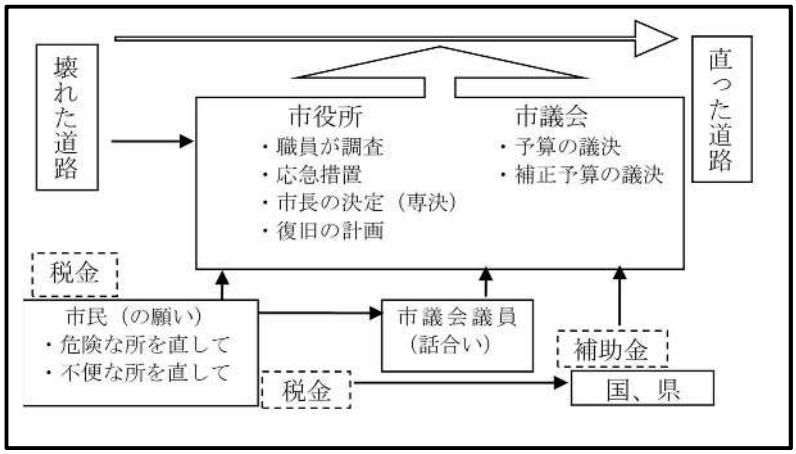
・聞き取り調査で聞いたことや収集した資料を活用したりして、まとめ、市民の願いを実現し、生活の安定と向上を図るための政治の仕組みと、その費用は国民が納めた税金によって賄われていることを理解できる。

・災害復旧プロジェクトに着目して、安全に暮らしたいという人々の願いを実現するための仕組みについて、図等を用いて適切に表現できる。

・災害復旧の取り組みを事例に、安全に暮らしたいという人々の願いを実現するための地方公共団体等の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり学習内容を振り返ったりして学習問題を追究しようとする。

２ 本時の展開

税の使いみち　国民主権　財政の目的

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点、評価（○）
導入	１　本時の学習課題を確認する。 災害で壊れた道路は、誰がどのように復旧させたのだろうか。 ・問いに対する予想を立てる。 ・現時点で「復旧」に関して見たことや考えていることを出し合う。 ※市役所の人が対応したからではないかな。 ※地域の人が誰かに何かを伝えたのではないかな。 ※どのくらいのお金がかかったのかな。	・災害被災児に配慮を心掛ける。 ・「壊れた道路」と「直った道路」の写真を同時に提示する。 ・道路が直っていく過程にはどのような仕組みや働きがあるのか、どのような人々が関わっているのかを中心に予想を出し合わせ、単元を通した追究活動への意欲を高める。 ○主体的に学習に取り組む態度 ⇒　学習問題に対し予想を出し合い追究活動への意欲を高めている。
展開	２　地域、特に、町内の人々や市役所の人々にインタビューをする。 ・地域に足を運び、現場で仕事をしていた人の声を聞くことにより、災害復旧の取り組みを具体的に捉え、追究していく意欲を高める。 ・学習の流れにより、市議会議員や市長などから話を聞く調査活動を行う。 ・市役所や市民など、異なった立場で調べた友達の意見などについてメモを取りながら聞いたり、まとめたりする。 ３　様々な立場の人々による災害復旧の取り組みを追究することで分かってきたことや、調べたことを基に、市や国の働きを考えながら、「関係図」にまとめる。  	・調べ学習を中心として多くの事実を集めながら、道路が直っていく過程の仕組みなどを解き明かしていく学習を展開する。 ○主体的に学習に取り組む態度 ⇒調べ学習で分かったことと自分の予想を比べたりしながら、学習問題を追究している。 ・児童が調べてきたことを取り上げながら全体で関係図を作り、調べたことを整理する。 ・「関係図」にまとめることで、「壊れた道路」が直っていく過程には人々の願いがあり、それが政治と関わっていることを示す。これらの活動を通して、災害復旧の陰に市や国の政治の働きが反映していることやそれを支え

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点、評価（〇）
展開	災害復旧のための費用は、どのように集められ、使われるのだろう。 ※災害の復旧には、みんなが納めた税金などが使われているんだね。 ※道路を直すには、たくさんの税金が使われたんだな。税金は国や地方公共団体（県や市）で集められるよ。 ※災害発生が予想されていなかったから、市議会は予算を変更する補正予算を議決して災害復旧の費用を確保したらしいよ。 ※税金は、災害復旧の取り組みなど、私たちの暮らしを支えることに使われているんだね。 ４　関係図から気付いたことをまとめ、発表する。 ※災害復旧には、市役所や、選挙で選ばれた市の議員の話合いが大きな役割を果たしているんだね。 ※地域の人が、直してほしいところを市役所に要望して、そのための費用には、みんなが納めた税金が使われているんだね。	る税の働きが「見える」「分かる」ようにする。 〇思考・判断・表現 ⇒安全に暮らしたいという人々の願いを実現するための仕組みについて、図等を用いて適切に表現している。 ・税金は災害復旧など国民生活を支えるために使われていることを示す。
まとめ	５　本時を振り返り、学習内容をまとめる。 災害で壊れた道路は、市民の願いにもとづいて、選挙で選ばれた市の議員の話合いによって、みんなが納めた税金を使って復旧された。	〇知識・技能 ⇒聞き取り調査で聞いたことや収集した資料を活用したりして、まとめ、市民の願いを実現し、生活の安定と向上を図るための政治の仕組みと、その費用は国民が納めた税金によって賄われていることを理解している。 〇主体的に学習に取り組む態度 ⇒自分の予想や学習のプロセスを振り返りながら、学習のまとめを行っている。

３　評価規準

【知識・技能】

聞き取り調査で聞いたことや収集した資料を活用したりして、まとめ、市民の願いを実現し、生活の安定と向上を図るための政治の仕組みと、その費用は国民が納めた税金によって賄われていることを理解している。

【思考・判断・表現】

災害復旧のプロセスに着目して、安心に暮らしたいという人々の願いを実現するための仕組みについて、図等を用いて適切に表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

災害復旧の取り組み

を事例に、地方公共団体等の政治の働きについて、予想や学習計画を立てたり、学習内容を振り返ったりして学習問題を追究しようとしている。

【小学校】 事例4 「政治の働きを支える税」(地域の開発や活性化)

ポイント➢ 市民が納める税によって地方公共団体の活動が行われていることの理解に重点を置いた授業例

〇実施学年、教科など

・第６学年/社会科((1)我が国の政治の働き（ア（イ）（ウ）イ（イ））)

〇単元の目標

・地域の人々の願いである地域開発の事業や予算、その費用を賄う税金の使われ方について理解できる。
・政治は人々の願いを実現するために行われるものであり、そのために税が果たす役割と、それが民主的な手続きにより集められることを考え、表現できる。
・学習したことを基に、納税者としての自覚を高め、社会の一員として自分にできることを考えようとする。

〇指導計画（４時間・各１時間）

【単元を貫く問い】

私たちのまちに暮らすいろいろな人の願いを実現するために、どのような社会の仕組みがあるのだろう。

第１時　まちで暮らす人たち
第２時　住みよいまちをめざして
第３時　市の政治と税金の働き＜本時＞
第４時　単元のまとめ

〇本時の学習

１ 本時の目標

・歩行空間を確保し、商店街を活性化する駅前広場の整備など、地方公共団体の活動に必要な費用は、市民などが納める税金で賄われており、税は私たちがより豊かで安全・安心な生活を送るために大切な働きをしていることを理解できる。
・学習したことを基に、納税者として自分にできることを考えようとする。

税の使いみち　国民主権　財政の目的

２ 本時の展開（３／４時間）

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料(☆)
導入	1　市が行う〇〇駅北口駅前広場整備事業の総事業費を知る。 ※約 100 億円もかかっているんだ。 2　本時の学習課題を確認する。 〇〇駅北口駅前広場の整備の費用は、どこから出ているのだろうか。 ※税金が使われていると思うよ。 ※私たちの払っている消費税も関係あるのかな。	・身近な地域の開発事業として、まちの玄関口である駅の整備事業を取り上げる。 ・整備事業が国民生活の安定と向上（例えば、交通利便の向上、歩行空間など安全の確保、商店街の活性化など）のために行われたものであることを押さえる。 ☆整備事業の前後における〇〇駅北口駅前広場の様子（写真など） ・事業費の金額をイメージするために身近な公共施設の建設費などと比べる。 ・具体的な金額を提示することで、社会的な負担の必要性を示す。
展開	3　学習課題について、教師が作成した資料や副教材を読み取り、ノートにまとめる。	☆教科書や教師が作成した資料、副教材 ・一人調べの際に副教材を活用するよう助言し、どのような税金がどこに納められているのかを児童と共に確認し、様々な形で国や市に税金が納められていることを示す。 ・国税と地方税があることを示す。

展開	4　各自がまとめた内容についてクラス全体で交流する。 ・100億円の約半分のお金は国が出している。 ・私たちが払っている消費税や家の人の収入から納める所得税は、国に行くことになっている。 ・残りの約半分のお金は市が出している。 ・地域に住む人たちが納める住民税は、市区町村や都道府県に行くことになっている。 ↓ ・私たちの家の人が納めた税金によって、○○駅北口駅前広場の整備の費用が賄われているんだ。 ↓ ・○○駅北口駅前広場の整備は、交通の利便を向上させたり、歩行空間を創り出して安全を確保したり、商店街の活性化などにもつながる事業だ。つまり、税金は私たちの生活に大切な役割を果たしているといえる。 5　外部講師の話を聞き、思ったことを交流する。 ・○○駅北口駅前広場の整備以外にも、教育、警察や消防、公園や道路の整備、ごみ収集、医療や年金など、私たちの生活に欠かせないところに税金が使われているんだ。 ・個人の力では、これらに必要なたくさんの費用を出すことは難しいけれど、みんなが税としてお金を出し合えば、これらの費用を賄うことができるんだ。だから、私たち一人一人がきちんと税を納めていくことが大切だ。	 ・地方税に地方消費税があること、地方消費税は地方公共団体の活動費用に使われていることを示す（消費税及び地方消費税の税率10%のうち2.2%。令和６年４月現在）。 ・全体交流時には、税金の役割についての発言を全体に広め、その発言についてどう思うかを問い、税金と自分たちの暮らしとの関わりを捉えることができるようにする。 ☆副教材を活用 ・外部講師に、地方公共団体や国の税金の使いみちと予算額などについて分かりやすく話をしてもらい、税金の役割が理解できるように説明する（児童の理解が深まるよう、駅前広場の整備以外の身近な税金の使いみちについて話をしてもらう。また、教科書の裏表紙に「国民の税金により無償で支給」と書かれていることを示す。）。 ・外部講師の話を聞いて思ったことを交流する中で、「豊かで安全・安心な暮らしを支えるのは一体誰なのか。また、そのような暮らしを支えるために大切なことは何か。」と問い、自分たち自身が政治の働きを支える納税者であり、その義務を果たすことが豊かで安全・安心な暮らしをつくり出すことになることを示す。
まとめ	6　学習のまとめをノートに書く。 ※○○駅北口駅前広場の整備をはじめとして、国民が豊かで安全・安心な生活を送るための地方公共団体や国の政治の働きに必要な費用は、国や市の税金によって賄われているんだ。 ※そんな大切な役割をしている税金を納めるのは私たち一人一人だ。だから、大人になってもきちんと税金を納めていきたいと思う。	

３　評価規準

【知識・技能】

歩行空間を確保し、商店街を活性化する駅前広場の整備など、地方公共団体の活動に必要な費用は、市民などが納める税金で賄われており、税は私たちがより豊かで安全・安心な生活を送るために大切な働きをしていることを理解している。

【主体的に学習に取り組む態度】

学習したことを基に、納税者として自分にできることを考えようとしている。

【小学校】 紹介 「税について考えてみよう」

ポイント➢ 様々な視点や方法で「税」に触れ、「税」に関心をもつことに重点を置いた授業例

〇指導する内容のねらい

・高学年で学習するいくつかの単元に関わる「税」についての導入編と位置づける。「税」について様々な視点や方法で触れていくことで、学びを広げ深めるとともに、自分自身のアンテナを広げられるようにする。

〇指導する内容の特徴

・高学年での学習の前段階（＝導入）として、様々な方法で「税」に触れる。
・３年生であったとしても、すでに自分自身も「税」と関わっていることを実感する。
・「税」がある場合とない場合の暮らしの違いを、説明を聞いて比較する。

〇本時の学習

１ 本時の目標

・自分自身と世の中を結ぶきっかけになる。
・「税」について、様々な方法で考えることができる、ということを体感する。
・授業に参加することで、課題に意欲的に取り組めるようになる。

２ 本時の展開

租税の種類

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
導入	1　話を聞いて、なぜＡ君が買い物できずに帰ってきたのか、予想する。 【予想される回答例】 「お金を落とした。」、「買いたいものがなかった。」、「予算オーバーになってしまった。」、「消費税分オーバーしてしまった。」など 2　この授業では、「税」についてみんなで考えることを把握する。 説明後に配付されるワークシートを基に授業が進むことを把握する。	・話はオリジナル。 500 円玉を１枚もって買い物に行ったＡ君が、買い物できずに帰ってきた。その理由を考える。 ・様々な答えが出てよい。 ・ワークシート「『税』について考えてみよう 01」は、２の説明をしてから、配付する。
展開	3　知ってるかな？ 「『税』という言葉を聞いたり見たことがあるか。」 ワークシート「『税』について考えてみよう 01」の３⑴に取り組む。 ・全員が知っている ＝「税」について知っていることを数名発言してもらう。教員は内容を板書やプロジェクターで示す。 ・知らない人がいる ＝数名のグループで情報共有をした後に、上記と同じ流れ。 ワークシート「『税』について考えてみよう 01」の３⑵にクラスの仲間の発言をメモする。	・生徒がワークシートにかきだす時には、言葉や絵でかくことも可であることをアドバイスする。 ・生徒の発言は、間違っていても指摘しない。自由な発想で発言できる雰囲気を教員がつくる。 ・生徒同士の声をお互いにしっかりと聞くことをアドバイスする。 ・生徒が「税」について、どのような認識をもっているか把握する。

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
展開	4　調べてみよう ３で出てきた「税」の漢字の意味やなりたちなどを、漢字辞典、国語辞典、百科事典などで調べる。	・漢字辞典、国語辞典、百科事典を使用する。 （時間があれば生徒個人で。時間がなければ、事前に教員が用意したものを提示する。） ・ワークシート 01「『税』について考えてみよう」にある参考資料のところには、使用した資料名、出版社、出版年を記録する（参考文献の書き方を指導できる。）。
	5　考えてみよう・比べてみよう ・２つの話を聞く。 「税金がある場合の暮らし」・「税金がない場合の暮らし」 ・２つの暮らしを比べたときの発見、疑問などをワークシートに記入する（ワークシート「『税』について考えてみよう 01」５⑴）。 ・隣の席の生徒と意見交換をする。 ・自分の意見や、印象に残った仲間の意見を発表する。 ・ワークシート「『税』について考えてみよう 01」５⑵の記入をする。 ・仲間の意見を聞いて、考えを深め、新たな疑問をもったことをワークシート 01「『税』について考えてみよう」の「振り返り」欄に記入する	・話は、オリジナル（２枚の絵を作成して、違いを見つけてもらうのもよい。）。 ※時間がなければ、省略して別時間に実施するのも可） ・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー」を参考にする。 ・税金がある場合とない場合に、人々の生活に違いが出ることを説明する（ワークシート「『税』について考えてみよう 01」５への記入内容を板書やプロジェクターで示す。）。
	6　予想しよう どんなものから「税」という字を見つけることができるか予想する。 ・スーパーなどのお店で入手したもの ・「商品」、「レシート」 ・自分の家にあるもの ・図書館や役所などでみつけた資料　など 予想したものをワークシートに記入する。	・生徒の発言を板書やプロジェクターで示す。 ・生徒からの意見が出ない場合には、教員側から税を意識するタイミングなどについて、ヒントを出す（買い物に行くと…、商品に書いてあるか。）。

	主な発問／学習活動・学習内容、児童の反応（※）	指導上の留意点 教材・資料（☆）
展開	7　探してこよう（次回以降の取り組みに繋げる）＝　課題の提示 ６で予想したものの中から実際に家で「税」という字を探してくる。見つけたものについて、ワークシートにまとめる。 ワークシートには、感想も書くこと。 《課題に取り組むにあたっての想定される質問の回答》 例　・保護者の方に協力してもらってもちろんよい。 ・海外のレシートや商品などから見つけてもよい。 ・お店などで見つけた場合に、お店の方に質問してよい。 （感謝の気持ちを必ず述べる、お仕事の邪魔をしない。） ・見つけたものをワークシートに貼ってよい。貼ることができないものは、写真に撮って貼ったり、自分で絵を描いてよい。 ・現物を学校に持参したい場合には、保護者の方の許可と担当教員の許可を得ること。	・ワークシート「『税』について考えてみよう 02」を配付する。 ・宿題とするので、生徒からの質問を受け付け、楽しく課題に取り組めるようにアドバイスする。 ・授業内容を家に持ち帰り、家族で話題にする。自分自身にとって、より身近な話題として認識したり、アンテナを広げることで、新たな発見や疑問をもつことに繋げる。 ・税金がかからないものをみつけてきてもよい。
まとめ	8　ワークシートに、今回の授業の取り組みから「分かったこと、発見したこと、疑問に思ったこと、取り組み全体の感想」などを記入する。 9　ワークシートを自宅に持ち帰り、家族で話題にすることを確認する。次回までの課題について内容と締切日を確認する。	

●●年度　ワークシート

-「税」について考えてみよう　01-

1．お話をきいて考えよう ： あなたは、A 君が買い物できずに帰ってきたのは、なぜだと思いますか？

あなたが予想したことと、クラスの仲間の予想を記録しておきましょう。

2. 今日の取り組みについて ： 説明

3. 知っているかな？ ： 「税」という言葉をきいて、知っていることやイメージしていることをかきましょう。

（1） あなたが知っていることやイメージしていることを書き出しましょう。（いくつでも OK）

（2） クラスの仲間と情報を共有しましょう。

自分	クラスの仲間

4. 調べてみよう

「＿＿＿」という漢字の意味やなりたちを調べよう。

税	

参考資料：『　　』出版社名

5. 考えてみよう・比べてみよう ： 2つの話を聞いて

（1） 2つのお話を比べましょう。（例をヒントにして、比べる点を自分で書き出しましょう。）

（2）「お話その1」と「お話その2」のちがいは・・・

【＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿】

お話その1	比べる点	お話その2
呼んだ人が、お金をはらわなければならない。	例：救急車を呼ぶ	呼んだ人は、お金をはらわなくてよい。

ということ。

6. 予想しよう ： 「税」という字を探そう！

あなたは、どんなものから「税」という字をみつけられると思いますか？

→ 次のワークシート **7. 探してこよう** につながります。

振り返り ： 今回の取り組みから・・・

あなたが、**「知ったこと」「分かったこと」「発見したこと」**などを書きましょう。
あなたが、**「疑問やふしぎに思ったこと」「もっと知りたいと思ったこと」**などを書きましょう。

取り組んだ感想

-「税」について考えてみよう 02-

7. 探(さが)してこよう ： 「税」という字をさがして、このワークシートに自由(じゆう)にまとめましょう。

取り組みのヒント（1）「ワークシート『税』について考えてみよう 01」 6で予想したものから「税」という字は見つかったかな？
（2）予想(よそう)しなかったものからも見つけることができたかな？
（3）家族の方と一緒に見つけたものはあるかな？

あなたが、**「知ったこと」「分かったこと」「発見(はっけん)したこと」**
あなたが、**「疑問(ぎもん)やふしぎに思ったこと」「もっと知りたいと思ったこと」**

取り組んだ感想(かんそう)

参考1：租税教育の体系図（学校段階と授業において取り上げたい要素）

学校段階			小学校（社会）※中学年	小学校（社会）※高学年	中学校(公民的分野)	高等学校（公共）	高等学校（政治・経済）
育成を目指す資質・能力	知識・技能		・人々の生活との関連を踏まえ、自分たちの住んでいる地域（市や県など）の様子等について理解 ・具体的資料（調査活動、地図帳等）を通して、必要な情報を調べまとめる技能	・国土の地理的環境とそこで営まれている産業の様子、情報化に伴う産業や国民生活の変化について理解 ・我が国の政治の考え方と仕組みや働き、関係の深い国の生活やグローバル化する社会における我が国の役割について理解 ・基礎的資料（地球儀や統計等）を通して、情報を適切にまとめる技能	・我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解 ・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能	・現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解 ・諸資料（新聞、年鑑等）から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能	・社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解 ・諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能
	思考力・判断力・表現力等		・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力 ・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを表現する力	・社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力 ・社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・考えたことや選択・判断したことを説明したり、議論する力	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力 ・思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力	・現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力 ・合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力	・現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力 ・構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力
	学びに向かう力・人間性等		・主体的に学習の問題を解決しようとする態度 ・よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度		・主権者として，持続可能な社会づくりに向かう社会参画意識 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度 ・各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚	・よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度 ・我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚
項目		キーワード	授業において取り上げたい要素				
「租税教育」の項目	私たちの生活と税	税の意義・役割・課題	租税の役割	租税の役割と意義	租税の意義と課題	租税の意義と課題	租税の意義と課題
		税の使いみち	私たちの暮らしと税	身近な暮らしと税	税金の使いみち	国民生活と税	国民生活と税
		税の種類	税の種類	税の種類	税の種類・分類	税の種類・分類	税の種類・分類
		国民主権	自分たちで決めたきまりや 法を守ることの大切さ	日本国憲法の基本理念である国民主権	・民主主義の基礎にある個人の尊厳と 人権の尊重という考え方 ・主権者としての政治参加の在り方	公共的な空間に生き国民主権を担う 公民としての自覚	国民主権を担う公民としての自覚
	よりよい社会と税	納税の義務		納税の義務	私たちの生活と納税の義務	憲法に定められた権利と 納税の義務	法の支配 （租税法律主義）
		公平な税		税はみんなで分担して納めていること	公平な税の考え方	公平な税の考え方	・公正で適切な負担 ・負担と受益の均衡 （応能負担と応益負担）
	政府の経済的役割と税	財政の目的		法令や予算との関わり	政府の経済的役割	政府の経済的役割	国民経済における 政府の役割
		財政の現状と課題			国民の受益（福祉・公共サービス） と負担の関係	公債発行と財政赤字	税・財政の課題 （財源の調達と配分）
	主権者としての税	これからの社会と税				税に関する仕事	自ら正しい申告・納税を すること（申告納税制度）

○参考2：小学校の学習内容と教材化の視点の例

（注）１　ＵＲＬ及びＱＲコードは、令和６年６月１日現在のものを掲載しています。
２「ＱＲコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

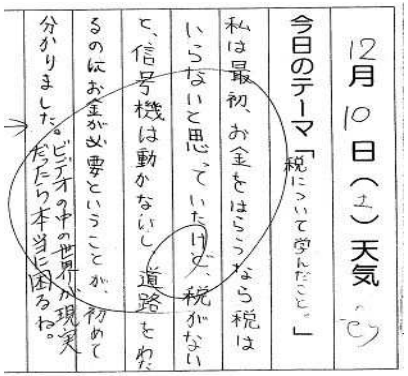
授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料（ＵＲＬ）	ＱＲコード
	素材	指導上の留意点		
私たちの暮らしと税	地図記号	「税務署」で検索し、地図記号がそろばんの玉の形をしていることに気付き、税務署が税金というお金を集める（計算する）公共施設であることを示す。	・国土地理院ＨＰ (URL:https://www.gsi.go.jp/syouka.html)	
			・地図	
	レシートの消費税	レシートの消費税を確認し、児童も消費税を払っていることを示す。	・レシート	
（以下、高学年）				
租税の役割と意義	災害の写真	神戸市のオープンデータ「阪神・淡路大震災『１・17の記録』などを活用し、災害からの復興の過程（取り組み）を示す。	・阪神・淡路大震災「１・17の記録」（神戸市の写真） (URL:http://www.kobe117shinsai.jp/fixed-point/)	
身近な暮らしと税	児童の一日の生活	「マリンとヤマト　不思議な日曜日」などを視聴し、一日の生活の例を通して身近な生活と税の関わりに気付き、安全、安心で豊かな生活など、みんなの願いが地方公共団体や国の働きによって実現されていること、その働きの費用は税で賄われていることを示す。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（マリンとヤマト　不思議な日曜日）」 (URL:https://youtu.be/MivtD3Hhl6M)	
			・財務省主税局×うんこ税金ドリル (URL:https://www.mof.go.jp/tax_policy/publication/brochure/zeikin_drill/index.html)	
	税のない生活	「ご案内します　アナザーワールドへ」などを視聴し、税がなかったらどのような生活に変わってしまうのかを考えを地方公共団体や国の働き、その費用を賄う税の必要性を示す。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（ご案内します　アナザーワールドへ）」 (URL:https://www.nta.go.jp/taxes/kids/video/index.htm)	
	教育費	公立学校に通う児童一人当たりの月（年）間教育費を知り自分に使われている税金の多さに気付くよう促す。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（学習・発展編）」 (URL:https://www.nta.go.jp/taxes/kids/hatten/page06.htm)	
	１億円のレプリカ（みほん）	量や重さを体感させ、集める税や予算の大きさなどを示す（１億円の重さ10kgは、例えば、２Ｌペットボトル５本分と同じ位の重さであるなど、身近なものなどで例える。）。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー」 (URL:https://www.nta.go.jp/about/organization/tokyo/education/taiken/img/image013.JPG)	

授業において取り上げたい要素	学習活動		教材・資料（ＵＲＬ）	ＱＲコード
	素材	指導上の留意点		
税の種類	税の種類	クイズにより種類の多さ（約 50 種類）に気付き、みんなが様々な形で税を分担していることに気付くよう促す。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（Zei 君の税金クイズ）」 (URL:https://www.nta.go.jp/about/organization/kantoshinetsu/cgi-bin/quiz/quizindex.cgi)	
	外国の税	通称ポテトチップス税やソーダ税など外国の身近で分かりやすい税の種類を紹介し、税に対する関心を高める。		
日本国憲法の理念である国民主権	選挙	税の使いみちは選挙で選ばれた国民の代表者が国会で決めており、国民一人一人が政治や選挙、税の使いみちなどに関心を持つことの大切さを示す。	・総務省ＨＰ　主権者教育動画「18 歳になったら選挙に行こう！」 (URL:https://www.youtube.com/watch?v=uTeHQMbp5pM)	
税はみんなで分担して納めていること	レシートの消費税	レシートの消費税を確認し、児童も消費税を払っていることを示す。	・レシート	
	消費税の行方	消費税の行方を調べることにより、税が社会を支えていることに気付くよう促す。	・財務省ＨＰ（消費税の使途に関する資料） (URL:https://www.mof.go.jp/tax_policy/summary/consumption/d05.htm)	
法令や予算との関わり	税金の使いみち	みんなが納めた税金の使いみちを知ることを通して税金がどのように役立っているのかを気付くよう促す。	・国税庁ＨＰ「税の学習コーナー（学習・応用編）」 (URL:https://www.nta.go.jp/taxes/kids/oyo/page13.htm)	

【児童の活動の様子】

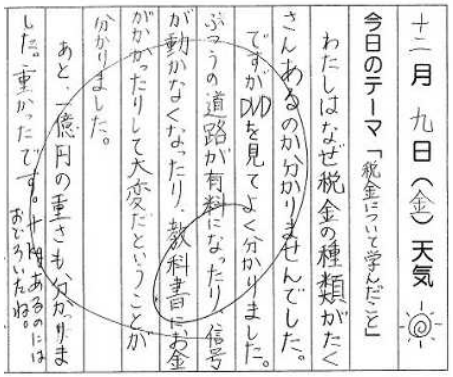
・税に関する絵はがきコンクールへの作品

・租税教室実施後の日記から


12月10日（土）天気

今日のテーマ「税について学んだこと。」

私は最初、お金をはらうなら税はいらないと思っていたけど、税がないと、信号機は動かないし、道路をわたるのにお金が必要ということが、初めて分かりました。ビデオの中の世界が現実だったら本当に困るね。


十二月九日（金）天気

今日のテーマ「税金について学んだこと」

わたしはなぜ税金の種類がたくさんあるのか分かりませんでした。ですがDVDを見てよく分かりました。ふつうの道路が有料になったり、信号が動かなくなったり、教科書にお金がかかったりして大変だということが分かりました。

あと、一億円の重さも分かりました。重かったです。十円あるのにはおどろいたね。

○国税庁ホームページ「税の学習コーナー」の紹介

検索サイトで　税の学習コーナー　を入力

・学習ページ（入門編、発展編、応用編、実践編）
・租税教育用教材（租税教育の事例集、教材（パワーポイント・PDF）、講師用マニュアル、ワークシート）
　・ビデオライブラリー
　・ゲーム
　・クイズ
　・税の作文（受賞者発表など）
　・各国税局学習コーナー
　などを掲載していますので、御活用ください。

（URL）
https://www.nta.go.jp/taxes/kids/index.htm

○監修

事例集の作成に当たり、以下の方々に御指導、御協力を賜りました。
（敬称略。学校名・職名などは監修依頼時。）

【平成 27 年 4 月発行版】
・和歌山大学准教授　岩　野　清　美
・埼玉県立川越初雁高等学校教諭　池　田　美友貴
・横浜市立丸山台小学校教諭　大久保　房　代
・東京都立国際高等学校教諭　宮　崎　三喜男
・大阪市立蒲生中学校校長　吉　信　勝　之

【令和 5 年 11 月改訂版】
・和歌山大学准教授　岩　野　清　美
・横浜市立六つ川小学校教諭　大久保　房　代
・慶應義塾横浜初等部教諭　白　井　敦　子
・山脇学園中学校教諭　中　田　成　昭
・東京都立田園調布高等学校教諭　宮　崎　三喜男